

# 議会だより

うれしの

12月補正予算 ..... P02

臨時議会 ..... P05

一般質問 ..... P08

委員会レポート ..... P18

# 平成27年 第4回 定例会

平成27年第4回嬉野市議会定例会が、12月4日から17日までの14日間の日程で開催されました。平成27年度一般会計補正予算をはじめ、国民健康保険特別会計など9つの特別会計補正予算、条例の制定2件、条例の一部改正4件、指定管理者の指定2件、人事案件1件が提案され、慎重な審議の結果、全員賛成で可決しました。(賛否表はP6)

一般質問には14名が登壇し、3日間にわたり市政を質しました。(P8)

内容につきましては、7億5156万円を追加し、補正後の予算総額を

## 繰越金を貯金に積立

平成26年度の繰越金として4億3141万円を平成27年度の歳入に計上しました。

この内2億2999万

円を基金(貯金)に積立て、残りを12月補正として各種事業に充てました。

また、ふるさと応援寄附金が想定以上に伸びていますので、今回、

2億930万円を基金に積立っています。

今後、新幹線開業に向けて駅前周辺整備事業などが予定され、厳しい予算の中、事業の推進に

増えると考えられます。市民のために貴重な予算を有効に活用できよう、議会としても厳しいチェックが必要です。

## 各種基金残高

(単位：千円)

各種基金残高	12月補正金額	基金残高
財政調整基金	230,000	1,851,923
減債基金	0	1,118,724
公共施設建設	0	238,309
地域づくり推進事業	0	414,839
学校建設	0	591
教育環境支援	0	87
ふるさと応援寄附金(H20～)	209,300	327,377
下水道事業	0	137,736
奨学資金積立金	0	48,373
人づくり振興	0	50,000
地域福祉	0	464,051
ふるさと水と土保全対策	0	20,413
合併振興	0	1,322,028
合計	439,300	5,994,451

今回も総額で3億4241万円が増額補正されました。

この内訳は、頂いた寄附金を基金へ積立てる金額が2億930万円、受付業務や配送など寄附金の支援業務の委託料として1億3190万円（寄附金に対してのお礼品代金も含む）、市への直接申し込みのお礼品代金として121万円、振込手数料3000円となっております。

これにより、現段階での寄附金の年間総額予算は3億2735万円、それに係る委託

料並びにお礼の品代や送料などの経費は2億992万円となり、実質1億1743万円が市の収入となる予定です。市では昨年10月より、民間の業者と委託契約を結び、インターネットでの受け付けを開始したところ、多くの方々から寄附金が寄せられることとなりましたが、本年7月より寄附金に対するお礼品の割合を変更したことにより寄附金額が二気に増大しました。この制度に関しては、様々な意見があるものの、財源確保や市内業者の活性化におい

ては有効な手段であり、この制度を活用し嬉野のPRや、誘客手段としての活用も検討してもらいたいと思います。



▲お礼の品物

## またまたうれしい増額補正

ふるさと応援寄附金

## 有害鳥獣被害から

## 農作物を守れ！

### 有害鳥獣被害防除対策事業

イノシシ、アライグマなどの有害鳥獣による農作物被害が増大する中、今回鹿島藤津地域有害鳥獣広域駆除対策協議会負担金として127万4000円を追加補正し、342万4000円を予算化しました。

この事業は県が50%、市が50%負担し、4月から10月までの駆除期間においての捕獲に要する報償金および経費の補助です。

それと合わせて市単独の有害鳥獣被害防除対策費として

198万円を

追加補正し、総額1030万

3000円が

予算化されました。

報償金は現

状通りイノシシ

一頭当たり国が

8000円、市

が5000円、

県が（4月〜

10月）5000円と最大

1万8000円が支払

われることになっていま

すが、全国的捕獲数が

増大したため国の予算

が枯渇しており、今後につ

いては不透明な部分



▲増え続けるイノシシ被害

もありません。

しかしながら増え続ける有害鳥獣被害から人命、農地を守るため、国としてもなお一層の対応が必要だと思えます。

農地中間管理機構による農地の集積が進展しない中山間地域の集積をはかるため、県の単独事業として46万円を予算化しました。

現在、中山間地域において生産者の高齢化や後継者不足、さらにイノシシなどの被害により耕作放棄地が増加しております。

そんな中、生産条件が不利な中山間地域において農地の集積をはかり、農業生産の継続や優良農地を担い手へ引き継ぐことを目的とした新規事業となつていま

す。

今回の予算は県の補正が6月に決定し8月に詳細が確定したため、救済措置として4月に<sup>さかのぼ</sup>遡り個人的に契約されていた方も対象に含め、確認作業をおこない決定されたものです。

補助内容は新規の利用権設定並びに売買契約で、今回は1年契約でも農地の貸し手、受け手双方に10万円当たり1万円の協力金が支払われます。

尚、9月以降は農地中

間管理機構を通じ正規の10年契約が採択物件となります。  
中山間地域においては、このような制度がありますので是非ご利用ください。



▲守りたい大切な農地

## 中山間地域の 耕作放棄地解消のため 中山間地域担い手農地集積促進対策事業

## 生活環境のさらなる改善

### 市営浄化槽事業

市営浄化槽事業として656万円を予算化しました。

今年度より市営浄化槽事業が始まり、当初30基が予定されていましたが、9月補正で20基、今回10基が追加され合計60基が今年度に設置されます。

生活排水の適正な処理、生活環境の向上、河川の水質保全のために汚水処理事業がおこなわれており、特に合併浄化槽は自己完結型で集合処理より効率的であること、東北の震災をふまえ災害に強いことから、この方式が採用さ

れています。

浄化槽整備の対象区域は、公共下水道全体計画区域と農業集落排水処理区域を除く市内全域が対象となります。

浄化槽を市が管理する事

になります。今後10年計画で1100基を目標に推進していく予定です。

住環境・自然環境を保全するため、新築や増築を予定されている方や、水洗化を予定されて



▲きれいな川へ

いる方は、環境水道課にご相談下さい。

今後も地域での説明会を開催しさらに周知をはかっていく予定です。

# 臨時議会

市議会の臨時会が10月26日に1日間の会期日程で開催されました。

議案は嬉野市一般会計補正予算(第5号)をはじめ嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、嬉野市教育大綱について、指定管理者の指定についての4議案が提出されすべての議案が可決されました。

人口減少社会に力強く立ち向かう！

## 嬉野市まち・ひと・しごと創生 総合戦略



# 人口減少をくい止める！

## 総合戦略を策定

### 国では

国内の人口減少が急激に進む中、国においては、今から45年先の2060年に、日本の人口を1億人程度確保する

ため、地方に対し各地域の人口動向や産業実態を踏まえ、2015年度から2019年度(5力年の政策目標や施策(地方版総合戦略)を策定した自治体には「情報支援」「人的支援」「財政支援」を切れ目なく展開するようになりました。

### 嬉野市では

それを受け嬉野市においては、今回以下の4つの基本目標  
①嬉野市に住みたい・行きたい「ひと」の流れをつくる  
②嬉野市で働きたい「しごと」をつくる  
③嬉野市で結婚・出産・子育てしたい「まち」

をつくる

④嬉野市で安心して暮らしたい「地域」をつくるを柱に、「嬉野市人口ビジョン」において示した人口の将来推計を展望し、今後5力年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を取りまとめた「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

### 議会では

今回策定される嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけが、議会基本条例第7条第3号の規定により、議会が議決すべき事件であるため、「地方創生に関する特別委員会」を議員全員に

より設置し、総合戦略の中身について3日間に行ったり集中的に調査研究のための委員会を開催しました。

委員会としては、今後5年間においても、議会としてその成果を検証し、責務を果たしていくことを申し合わせるとともに、市長に対し事業を進めるにあたっては、市民の意見を聴取し、十分検証したうえで住民の参加を得る形で進めるよう申し添えました。

嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中身についての詳細は、市のホームページからもご覧いただけます。

# 結婚支援事業に政策提言

今回、文教福祉常任委員会より結婚支援事業について政策提言の提案がなされ、政策討論会の場を経て、議会より執行部に対し政策提言を提出しました。

政策提言とは嬉野市では議会基本条例の中に議会は、市政に関する重要な政策及び課題に対し、政策提言ができるとしています。

今回の提言では現在嬉野市が取り組んで4年目になる結婚支援事業について提言したものです。

市単独の結婚支援については4年間の間に6組が成婚されておりますが、現在の状況では登録者の数が伸び悩んでおり事業を継続していくうえでは大きな課題でした。

そこで今回、県が取り組んでいる「こが出会いサ

ポートセンター」の登録検索システムの導入をはかり結婚希望者の選択肢を広げていくべきとの提言をおこないました。

結婚支援については県内多くの市町で取り組みがおこなわれていますが登録者の範囲が狭い地域になつてしまったため実績が上がつ

ていないのが現状です。

少子化が進んでいる現在の状況では結婚支援事業は大変重要な施策であり、今後とも事業の検証などをおこないながら成婚率を上げていくことが必要と思われれます。



▲さらなる出会いをもとめて

## 平成27年第4回定例会(12月議会)議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議案番号	議案名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
			生田健児	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	大島恒典	梶原睦也	田中政司	織田菊男	西村信夫	山口要
(臨時議会) 議案第78号	嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(臨時議会) 議案第80号	指定管理者の指定について(嬉野総合運動公園、鷹ノ巣公園、轟の滝公園、嬉野市体育館、嬉野市社会体育館)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(臨時議会) 議案第81号	平成27年度嬉野市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	嬉野市公益的法人等への職員の派遣に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	指定管理者の指定について(嬉野市茶業研修施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	指定管理者の指定について(嬉野市営嬉野温泉公衆浴場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	平成27年度嬉野市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	平成27年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第9号	嬉野市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 議員定数を削減 18人→16人に

議会では昨年9月に議員定数等に関する調査特別委員会を設置し、議員定数について7回にわたり議論を重ねてきました。

議員定数、議員報酬及び政務活動費については、財政状況を勘案した検討が求められる一方で、初めから削減ありきではなく、今後の議会活動の在り方も含めて検討していくことを確認し、議論を進めてきました。

地方議会の議員定数は、地方自治法の一部改正により、それぞれの自治体において、条例により議員定数を定めることができます。

嬉野市議会では平成18年合併以降、平成22年に議員定数を22人から18人となりました。

その時点での議員1人当たりの市民の数は1600人であり、次の改選期に当たる平成30年には当市の人口推計は2万6700人となり、おり、議員1人当たりの市民数を平成22年と同様の

1600人とした場合16人となることから、今回議員発議として提出され可決しました。このことにより、平成30年に行なわれる改選時には、定数が16人となります。

議員報酬については嬉野市特別職報酬等審議会の判断となるため、審議会の審議に委ねることが適当との結論に達しました。

また政務活動費については平成25年の地方自治法改正により認められることになった要請・陳情活動については、議会の合意があれば対象とすることにし、情報公開については、現在各議員の支出状況及び活動報告書をホームページに掲載していますが添付する領収書についても掲載することとしました。

これからの人口減少・少子高齢化時代における議会および議員の役割を再認識するとともに、議員の資質を高め、議会改革を更に進めていくことを確認しました。

## 指定管理者決定

10月26日開催された臨時会において、市内一部の公園と体育館の指定管理者が、12月議会において嬉野市茶業研修施設(嬉茶楽館)と嬉野市営公衆浴場(シーボルトの湯)の指定管理者が決定しました。

嬉野市総合運動公園・鷹ノ巣公園・轟の滝公園・嬉野市体育館・社会体育館は公益法人嬉野市体育協会が指定管理者に決定し、期間は平成28年4月1日から平成31年3月31日までとなっています。

嬉野市茶業研修施設は佐賀県農業協同組合が、嬉野市営公衆浴場は一般社団法人嬉野温泉観光協会が再度指定管理者に決定しました。

期間はそれぞれ平成28

年4月1日から平成33年3月31日までとなっています。

公共施設を指定管理する事により民間のノウハウを活用し効率的な運営がなされることに期待するものです。



▲委託管理がなされるみゆき公園

# 勝負



## 工

### 業団地の今後の見通しは

山口政人議員

答 農地転用の協議が厳しい

**山口** 久間工業団地の見通しについて伺う。

**市長** 国全体で新しい許可が出ない状況で苦労しながら取り組みたい。

**山口** 現在、どういった申請をしているのか。

**市長** 農地法関係であるが、課題があるので調整をしている。

**山口** 農振除外地で優良農地でないのになぜ転用できないか。

**市長** 広さとか、全体的な開発の問題があると思う

ている。

**山口** 農地法の改正があつているが、4分の3以下に区切つて申請したらどうか。

**市長** そういったことで検討している。

**山口** 地権者の方は今後どうなるのか不安だと思つうので、説明をすべきではないか。

**市長** 今後少し動きがあれば説明していきたい。

### 農政について

**山口** TPPによって農業の衰退に拍車をかけないため市としてどう対応していくのか。

**市長** 国の大綱などを検討しながら、県と協議していきたい。

**山口** 関税の撤廃、輸入差益の削減で代替財源が不

透明の中、農業関係の基金造成を考えたらどうか。

**市長** 提案は理解するが現在、情報を収集している。

**山口** 中山間地の農業は今後、高齢化で集落機能の低下、農地保全の機能低下など問題が出てくるが市独自の施策はないか。

**市長** 中山間地は厳しい面があるが、国・県の制度を活用していきたい。

**山口** 稲作農家は所得補償が削減されている。農家負担軽減のため、種子代の補助はできないか。

**市長** 研究はするが、今は考えていない。

**山口** イノシシ駆除補助金の増額はできないか。

**市長** 国・県の補助事業もあるので、市独自の単価増は考えていない。



▲今後どうなるのか？



# 真剣



## 市の今後の財政は大丈夫か

芦塚典子 議員

答 財源を勘案して努力していく

**芦塚** 塩田中学校や社会文化体育館の大型建設が完了したが、今後も新幹線整備事業、下水道、道路などの維持管理や公

共施設などの整備が必要である。将来の維持管理や整備はできるのか。

**市長** 施設の維持管理費用は増加傾向で、公共施設も老朽化している。必要な財源を勘案し検討していく。新幹線や道路整備については、国・県の財政支援助と市の財政状況に合わせて整備をしていく。

**芦塚** 今後の市の財政状況はどうか。

**財政課長** プライマリーバランスにおいては、平成24・25年度に大型事業のため合併基金を多額借入しており、2年間赤字が続く。平成26年度は黒字の状況である。

**芦塚** 市の借入である地方債残高は。

**財政課長** 122億円。

**芦塚** 特別会計を入れると約194億円になる。基金の残高は。

**財政課長** 約60億円。

**芦塚** 整備費用が増大する中で、臨時財政対策債に頼らざるを得ないのか。

**財政課長** 地方交付税

で賄えれば借入に頼ることはないが、維持管理費が増えれば、臨時財政対策債が必要である。

**芦塚** 合併当時より経常収支比率は改善しているが、実際はどうか。

**財政課長** 一概に良くなっているとは言えない。

**芦塚** 今後厳しくなる財政状況の中で、財政収入増か緊縮財政か、どのような施策を取られるか。

**市長** 節約をしながら新しい投資で活力を作っていく。

**芦塚** 財政改善策とし

て近隣市町との連携や定住自立圏の構想はないか。

**市長** 消防、ごみ問題、介護保健、葬祭など連携をとっている。

**芦塚** 日曜日も行ける子ども支援センター、幼児教育センターや小児の救急医療体制や、広域医療体制などの連携が必要ではないか。

**市長** ほかの市町の情報を集めているところ。

**芦塚** 市の事業の民間委託は取り組めないか。

**市長** コストの面で踏み込めない状況である。



▲まだまだ続くインフラ整備

# 使

## い勝手のいい 複合的な公共施設を

山口忠孝 議員

### 答

様々な意見が出ている

勝手がよい。



**山口** 嬉野小学校跡地整備の基本構想をもとに基本計画が検討されていると思うが。

**市長** 嬉野市体育館及び社会体育館の機能を併せ持った施設と、コミュニティセンターなどの機能を持つ公民館の全体的なゾーニング作業が終わったところだ。

**山口** 社会体育館、公民館、温泉区公民館の単なる建て替えではないのか。

**市長** 大きな各種大会がある場合にはサブの体育館があった方が、使い

**山口** 公民館の中にコミュニティの事務所があるが、この際コミュニティと公民館を一本化できないか。

**市長** 公民館は社会教育の重要な位置を担っているのそこは連携していく。

**山口** これからは、使い勝手のいい複合的な公共施設が望まれる。制度としてはそうだろうが、このままでは何も変わっていかないのではないか。

**市長** 将来的には一本化できるかも知れないが、同じ施設の中で共有してやってもらいたい。

### 中国遼陽市との今後の国際交流について

**山口** 今回、交流事業で遼陽市を訪問されたが

# 国

## 道の歩道整備 について問う

森田明彦 議員

### 答

要望書を提出した



を受け、市としても国交省佐賀国道事務所へ要望書を提出した。

**森田** その後の進捗状況はどうなっているか。

**市長** 今年4月に国交省佐賀国道事務所より訪問され、地元地権者の同意状況を確認された為、後日、未確認の沿線住民の方へ同意の確認をおこなった。また通学者数調査を5月に行い、同月末に国道事務所へ報告した。

**森田** 沿線の対象地権者全員の同意が得られていると理解して良いか。

**建設・新幹線課長** 今寺一位原間約1キロで約40名の方ほぼ全員の同意をいただいた、この間の嬉野から武雄へ向かう左側のほうに歩道設置の計画をされている。

### 危険空き家対策にCSN

**森田** 今年5月に特別措置法が施行されたが、その後の取り組み状況について伺う。

**総務課長** 施行をうけ、現在、条例の改正に向け

て手続きをとっている。それと、28年度以降に市内の全件再調査をおこなうように予定している。

**森田** 担当課に苦情や対策などの連絡が寄せられてないか。

**総務課長** 幾らかは入っているが撤去などの解決には至っていない。

**森田** 持ち主が特定された空き家の解体費用の問題で金融機関との提携に関し協議されたか伺う。

**総務課長** 既に解体

があり、費用捻出にお困りの時は市の補助金と銀行ローンについて相互に紹介する協議を行っている。

### ふるさと納税のサークルCSN

**森田** 特典の一つに市内の空き家の見回りや庭木の管理などを加える考えはないか伺う。

**市長** アイデアとして、今後勉強させて頂きたいと思っている。



▲歩道のない国道

どうであったか。

**副市長** 温泉交流ということで観光協会も同行し、交流会など非常に盛り上がった。

ただ、遼陽市からこちらへ来て頂くのが厳しいという話だ。

**山口** 県の藩陽事務所が廃止になるとのことだが。

**市長** 事前に連絡を受けたが、今後も塩田工校や嬉野高校の交流は続けることだ。これまで

の交流の成果を生かしたい。

ふるさと住民票で

嬉野のPRを

**山口** 多くのふるさと応援寄附金が寄せられているが、ふるさと住民票を使って嬉野をうまくPR出来ないか。

**市長** 提案については研究してみたい。

その他の質問  
教育のPRについて



▲社会体育館予定地



**山下** 新幹線開業まで6年余りとなった。

フリーゲージトレインの試験走行に一年以上かかり先が見えず、今の状況では待てない。地域経済への影響も厳しくなってくる。今こそフル規格への転換の時ではないか。

**市長** 国の説明を受けていないので、次の説明を期待する。

**山下** 整備新幹線の地元負担金の3分の1の見直しを国に要望すべきで、沿線自治体と一体となり、沿線の中心にある嬉野で決起大会を開催し、推進すべきであると思うがいかがか。

**市長** 国の説明を聞いてから沿線自治体と協議する。

地方創生コンセン

**山下** 地方創生「まち・

フル

ル規格への  
決起大会を嬉野で

山下芳郎 議員

答 国から説明を受けたのちに協議する

ひと・しごと」の3つの言葉で、先に仕事があった

て人が集まり、町が維持できると思う。そのために、仕事が優先すると思うがいかがか。

**市長** 住んでよかったと言えるよう、仕事を作り、住んでいただくことを大きな柱とする。

**山下** 市民の声はどう反映されたか。

**企画政策課長** 推進委員会に各種団体の代表者が入り意見が反映された。

**山下** 国は新型交付金を「頑張る地域への支援」と位置付けるが、市長の認識と覚悟はいかがか。

**市長** 予算確保に向けて努力してゆく。

嬉野小学校跡地活用

**山下** 嬉野市体育館を改築時に充実することで、



▲進む新幹線工事

区で出費するので問題ない。

WiFiの設置を

**山下** クラウドを活用し会議の活性化のために庁舎会議室・議場へWi

Fiの設置の検討を。

**市長** 必要性は認識するが、予算を検討する。

社会体育館の移転は、少子化時代に入り、維持管理費の負担も考え、不用と思うがいかがか。

**市長** 両方の考えを検討する。

**山下** 自治公民館である温泉区公民館の移転は市民の理解を得られるのか。

**市長** 市体育館の代替地であり、建設費は温泉



# 水

## 田農業はどのように考えるのか

織田菊男 議員

### 答 営農組合の法人化を進める

**織田** 法人化を推進されている理由は。

**市長** 農地の利用権の設定が可能で基盤強化の準備金、税制の特例などが利用できる、また青年就農者などの安定雇用が出来る。

**織田** 法人化ができない地区の理由は。

**農林課長** まとまりができていないことや、複合的

な経営ができないこと、また農地の集約ができていないなどの原因があると考え

**織田** 営農組合の法人化に対して、国、県との連携はどうなっているか。

**農林課長** 市内に営農組合連絡協議会がある。出来ていない地区は、会合をおこなないながら、普及セン

ター、J Aと一緒に進める。

**織田** 営農組合は換金作物を作らないと経営が成り立たないのでは。

**農林課長** 法人化された営農組合では複合的なキャベツの試験栽培をされている所がある。

**織田** 営農組合と担い手の関係は。

**農林課長** 法人化された団体と認定農業者とは同等の資格がある。

**織田** 国・県の方針に従わないと補助金がない。市単独で対応出来ないか。

**市長** 必要なものには予算もつけている。全体的には生産、流通、販売を考えると、国全体の中で取り組む必要がある。

### 奨学金について

**織田** 市になってからの貸し付け人数と金額は。

**教育長** 合計92名。内容は大学40名、専門学校14名、高校38名で総額は1億2970万4000円になる。

**織田** 貸し付け条件は。

**教育長** 他の奨学金を受けておらず、心身が健全で嬉野に2年以上住所を有する者の子弟である事。また学資の支弁が困難で市税の滞納がない事が条件である。

**織田** 滞納者への対応は。

**教育長** 滞納者数は26年未で21名。合併後5名。未納が発生した時、1回目は貸付者へ貸し付け期日を明記して納付書を付して納入をお願いしている。納付がないと連帯保証人に文書発送し、担当者が家に行き督促をお願いしている所もある。



▲水田農業のゆく先は？

# 耕作放棄地をどうする

辻浩一 議員

### 答 営農可能な農地は活用する

を伺う。

**市長** 中山間地域は厳しい状況である。最終的に、借り手が無い農地は林に戻し、使える農地を集積して営農を継続する事が大事である。

**辻** 一度徹底的に調査し農地を管理すべきではないか。

**市長** 農地の貸借を調整し、小規模ではあるが山間部でも営農地として残していけるのではと思う。

**辻** 茶業の現状と今後の方向性は。

**うれしの茶振興課長** 後継者不足も見られ、生産額も減少傾向である。今後はお茶工場の再編も含め生葉の集約をはかりたい。

**辻** 嬉野茶のブランドを守るために積極的な減反も必要ではないか。

**うれしの茶振興課長** 高品質茶を作るために、労働力と栽培面積の適正化を進めて行きたい。

**辻** お茶の抜根をするためには大型機械が必要であり、転作物の栽培を条件に抜根の助成が出来ないか。



**辻** 農業委員会は農地の保全の施策であり、農地管理機構の施策は不良農地の切り捨てのような感じがする。このダブルスタンダードな施策について所感

# 乗 り合いタクシーの 路線変更は可能か

田中政司 議員

答 可能である



**田中** 現在運行されている乗り合いタクシーにおいて、大野原線では県道を通る運行となっているが、市道金松線を通っての運行は可能か。

**企画政策課長** 可能である。但し採算が合うと

か、そういう条件が当然出てくる可能性があるもので、十分見きわめた上で路線の変更を検討することになる。

**田中** 吉田地区では地域コミュニティにより福祉バスが運営されているが、轟・大野原地域コミュニティでの運行はできないか。

**市民福祉部長** コミュニティなどで運行となれば予算的な問題などを検証して対応するしかない。

**市長** 吉田地域においては路線バスも走っていない地域が多いということで導入できた、ほかの地域については乗り合いタクシーやバスが走っているところもあり、地域の皆さん方のご意見をいただければと思っている。

**駅舎のデザインには  
市民の意見を**

**田中** 新幹線嬉野温泉駅舎のデザインについては、いくつかのような形で決定するのか。

**市長** 平成29年5月頃、基本デザインが決定し、平成30年度に工事着工の予定で開業1年ほど前には完成



▲公共交通を再編せよ

予定と聞いている。**田中** 市民へのアンケートなどは。

**建設・新幹線課長** まちづくり委員会へ意見を求めたり小・中学校の子ども達にポスターなどを書いてもらったり、各種団体へ嬉野のイメージなどを尋ねていきたい。

**田中** 新幹線のフル規格での整備は財政負担が問題であり、フル規格実現に向け国やJRなどに対し強く要望するべきだ。

**市長** 国からの具体的な説明を聞いていないので、いろいろな言えない、沿線自治体と協議し連携していく。

**サッカー場に  
ナイター設備を**

**田中** 有効利用に向けて検討できないか。

**市長** フル稼働の状態でありこれ以上使って施設管理の面で大丈夫なのか研究したい、ナイター設備については高額で財源の問題も出てくる。

**市長** 何か制度として出来ないか、研究はしたいと思う。

**辻** オルレコースにある荒廃茶園に転作作物として椿の栽培は認められないか。

**うれしの茶振興課長** 確認をしたい。

**イベントの告知対策は**

**辻** 告知については、ありとあらゆる手段を取っていることは承知している。最後の手段として、会場前の道路沿いに車から見えるよ

うな大きな行事予定の看板は出来ないか。

**市長** リバティには二応告示できるようにしているが、もっと大型にして、車からも分かるようにした方が良いのではと考えている。

**競技の選択肢を増せ**

**辻** 総合型地域スポーツクラブの競技数を増やしてはどうか。

**文化・スポーツ振興課長** 各競技部に所属を推進したい。



▲耕作放棄地の有効活用を

# みなし寡婦控除を導入せよ

梶原睦也 議員

答 導入したい



**梶原** 寡婦と未婚のひとり親世帯との間では税制面を含め不公平感があるが。

**子育て支援課長** 寡婦控除についてのみ言えば不

公平感があると認識している。

**梶原** みなし寡婦控除を導入した場合、保育料や住宅使用料などその影響は。

**子育て支援課長** 保育料については母子家庭の減免は行っている。みなし寡婦控除が適用された場合の対象者も存在する。

**建設・新幹線課長** 市営住宅の寡婦控除適用は41世帯あるが、みなし寡婦控除世帯については把握していない。

**梶原** みなし寡婦控除導入は6月議会でも提案したが、その後具体的に検討されたのか疑問であるが。

**市長** 現在も寡婦と未婚のひとり親世帯とが不公平にならないように対応しているが、みなし寡婦控除については導入を検討している。

**梶原** 導入するというところで理解していいか。

**市長** これから予算を組まなければならぬが導入はしたい。

ひかりもみじくろん

# 町田酒造付近の 県道工事どうなる

西村信夫 議員

答 28年度で完成する



**西村** 五町田(東長酒造附近)県道改良が中断していたが工事再開に向けて目処がついたと伺っている。今後の工事計画について説明を求める。

**建設・新幹線課長** 工事予定地の電柱移転が終了して年度内に工事に着手

し28年度中に舗装工事まで完了する予定である。

TPP大筋合意  
はじまる

**西村** TPP交渉の大筋合意で首長の37%が反対である、市長の見解を伺う。

**市長** 政府の大筋合意は現段階では合意内容が明確になっていないので反対の立場だ。

**西村** 農林水産の重要5品目の国会決議は守れたか市長の見解を求める。

**市長** 現状で詳細に公表されていないので判断できない状況である。

**西村** 2012年総選挙で自民党の選挙公約、聖域なき関税撤廃を前提とする限り交渉参加に反対を国民と約束した。また嬉野市議会もTPP交渉参加を辞退する意見書を可決した。しかしTPP大筋合意でコメ輸入も現在の77万トから更に7万8400ト輸入枠を設けた。農業団体からは不満が噴出しているが市長の見解を伺う。

**市長** 議会の意見と同意で非常に心配している。



▲早期完成をめざして

## 本市の

### 農業政策について

**西村** 集落営農、認定農業者以外の生産農家の今後の見通しと対策について伺う。

**市長** 耕作できる農地を集積して国・県の制度を組み入れ、法人化を嬉野市全体に広げる、また認定農業者を増やす努力をした

**西村** 認定農業者にな

れる要件を伺う。

**農林課長** 年間おおむね150日以上就農している専従者で面積要件がおおむね4畝以上となっている。本市で95名おられる。

**西村** 今年の米の概算金と相対価格はいくらか。

**農林課長** 概算金1万円、相対基準価格は、さびより1万4000円、夢しづく1万2800円と聞いている。



▲ママ、だっこ

**梶原** 現役世代の不就業者、ひきこもりの増加は

地域活性化を妨げるだけでなく、高齢者世帯の負担になっているが。

**市長** ひきこもり支援は15歳から40歳までを対象

に佐賀県子ども若者総合相談センター、たけお若者サポートステーションで実施されている。

**梶原** 実態調査をされたことはあるか。また、その対策は。

**市民福祉部長** 18歳以上の方は対象者を把握するのは困難である。一方、平成27年度から生活困窮者自立相談支援事業を実施している。生活保護だけでなく就労支援相談も行っている。

る。

**梶原** 例えば、ひきこもりとなり生活困窮に陥り、住むところもなくなるような時の支援は。

**市民福祉部長** 住宅確保給付金がある。生活保護に至る前には福祉の窓口で受け付けをしている。



**増田** 空き家が年々増えていくが、再生事業の空き家バンクの課題は何か。

**企画政策課長** 登録件数が3件で非常に少ない。改修、リフォーム代がかかる。

**増田** 宮崎県綾町では空き家再生事業としてリフォーム代上限250万円の補助があり、約5年間で22件がその制度を利用しての事である。

嬉野市でも是非この制度を導入してはどうか。

**企画政策課長** 空き家のリフォームについては個人の資産価値を高めるので慎重に検討して行きたい。

**増田** リフォーム代は市の立替えになるが、家賃として入るので手出しはゼロだが、市長の考えはどうか。

**市長** 制度については勉強していきたい。

# 空

## 空き家再生事業の導入を

増田朝子議員

答 勉強していきたい

吉田地区の誘致計画はどうなったか

**増田** 吉田地区の企業誘致計画の位置づけは。

**企画政策課長** 農政局との協議が進展していない。

**増田** 面積は7.1畝地権者数は33名。農地法の改正もあり、県と打ち合わせを進めていきたい。

**増田** 地元説明会はいつしたか。

**企画政策課長** 平成21年9月におこなった。

ある程度見通しが立てば説明会を開催したい。

**増田** 市長は本当に企業を誘致しようと思ってるのか。

**市長** 企業誘致は施策の柱にあり、努力している。

**増田** オーターメイド方式だが、企業から話ができれば地元にも話をして進展させたい。

**市長** 市長としてトップ



▲空き家再生で定住促進を

セールスをしているのか。

**市長** いろいろな情報を探りながら、直接お願いしている。

対話集会について

**増田** 生活の生の声を聞いて欲しいが、計画はあるか。

**市長** 2〜3年に1回開催しているので計画する。

その他の質問

10周年記念イベントに



# 嬉

## 野市が目指す観光の大きな柱は

宮崎良平 議員

**答** 健康保養都市をめざしたい

**宮崎** 今後大きく変化していくであろう、わが市において、市長が目指す、理想とする観光の未来像について伺う。

**市長** 市の総合計画をつくる際に協議し、おもてなしの心で結ぶ交流のまちを基本方針とし、国内外のお客様が集っていただくことが未来像だと考える。

**宮崎** 市長選のうちに、高度な医療を提供し、温泉文化都市として有名なドイツのバーデン・バーデンのような長期滞在型観光や町並みを目指すとのことでしたが、その未来像においてご自身の達成率を伺う。

**市長** バリアフリー、ユニバーサルデザインを中心に考え、今後新幹線駅前への医療センター移転に伴い滞在型温泉地が現実のものになっていくと期待している。

**宮崎** どうもわが市における明確性のある大きな柱が見えてこない。国内外でみる昨今の企業誘致の動向における意識においても、インフラ整備、安価な地代というものより、情報発信する際の企業イメージと地域イメージとのマッチングを最も重要視されている。わが市において必要なのは、イメージとしてわかりやすい大きな柱を世界に向け発信し、絞り込んで企業誘致をすべきだと思いがいなか

**企画政策課長** 企業訪問の際、温泉とか自然などの決まり文句では企業は心動かないと言われた。企業の魂を揺さぶるものを模索している。

**宮崎** 合併10周年を迎え大きな転換期を迎えている。市長の決断と大きな舵取りが重要になる中で、



▲なれるか日本のバーデン・バーデン

あらためて市長の決意を伺う。

**市長** 観光関係の方にもご協力いただき、温泉、健康、医療というものを市の核として健康保養を進めていきたい。

**東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致について**

**宮崎** やるからには絶対に招致するという姿勢が重要だと思いがいなか

**市長** 国・県と連携し努力していく。

## ア パートの住環境は どうなっているか

生田健児 議員

**答** 計画的に収集を行っている



**生田** ルールどおりに分別しても回収されないという声を聞くが。

**環境水道課長** ほとんどが収集日の勘違い。ミスで持っていかなかったら連絡を貰えば職員で回収する。

**生田** アパート住民はおそらく班に入つてらっしゃらない方も多いと思うが市としての考えは。

**市長** 地区員として御加入頂ければと願う。

**生田** 女性の一人暮らしも多いと思うが、ゴミ袋に記名はフルネームではなくアパート名と部屋番号だけで対応できないか。

**環境水道課長** 嬉野市では記名をお願いしている。

**湯けむり広場について**

**生田** 市民からの評判が非常に悪いように感じるが、これからの利活用について伺う。

**市長** これから研究してみたい。

**生田** 年間大体300万円のランニングコストがかかっているが、こういった構造になっているのか。

**生田** アパートで地区ごとにゴミ出しルールが違うようだが何故か。

**市長** 一般廃棄物処理計画に基づき定めたルールであり地区により異なること





# 財政健全化に取り組み

山口要議員

## 答 有効な事業選択をおこなう

**山口** 国の財政が悪化し地方への財源交付が年々厳しくなった状況において、財政健全化に向けた取り組みが必要になってくる。今後の対応は。

山口 国からの事業展開という観点からの事業展開も考えなければならぬと思っている。

**市長** 有効な事業の選択や創意工夫が求められるし、あるいは市民協働と

山口 役所においては、前例踏襲にこだわり、過去の事業をスクラップしようとする。

限られた予算枠の中で、徹底的な事業の見直しに

山口 ヘルメットの購入額はどれくらいか。

**教育長** 大体3200円前後だと思ふ。

**山口** 自転車通学をしている子ども達の安全性を考えると、購入補助をしていくべきではないか。

**教育長** 今後シーリングの枠の中でおさまることがあれば、検討をする。

**産地名登録制度の申請に取り組み**

**山口** 品質や商品内容まで踏み込んでチェックされる「産地名登録制度」が始

まった。

しかし、嬉野茶は申請されてないが、その理由はなにか。

**うれしの茶振興課長** 嬉野茶の場合、佐賀と長崎の両県にまたがった産地であり、品質の基準が異なっていたためである。

**山口** 問題解決をおこなう考えはないのか。

**うれしの茶振興課長** 流通センターに、そこまでの話はしていない。

**電線地中化を**

**山口** 嬉野温泉本通りの電線地中化は。

**市長** 将来的に必要と考えるので、勉強したい。

**市長** 汲み上げた温泉を加熱して湯けむりを出すシステムに対して費用がかかる。

**生田** 市民からは無駄などの不満が出続けると思うが、納得していただけるような利用方法は考えていないのか。

**市長** 研究していきたい。

## リバティについて

**生田** 社会文化会館り

リバティのランニングコストは通年でおおよそ幾らぐらいになると予想しているのか。

**文化・スポーツ振興課長** 3200万円程度の予定で計画している。

**生田** これから毎年リバティは3200万円程かかるのか。

**文化・スポーツ振興課長** 約3200万円前後の計画だと認識している。



▲きびしい台所事情



▲収集日の確認を

# レポート

## 企業誘致と まちづくり 総務企画常任委員会

### 目的

人口減少の中、若者にいかにしてこの市内にとどまっていたかどうか、それには企業誘致も一つの選択肢である。企業誘致に熱心な丹波市、また、温泉街の活性化に取り組んでいる城崎温泉を訪れた。

### 委員会の意見

企業誘致に関しては、自治体間競争が激しい中、丹波市は、阪神都市圏との関わりが強く、また、交通の便が良く、地価が安い、良質な地下水が豊富など企業の立地条件には恵まれている。市内に

は複数の工業団地も整備されていて、大手の工場が立地している。しかし、これは合併以前の誘致企業であって、合併後の誘致企業はないとのことであった。

企業の立地選定の要因は、総合的な地域の魅力にあると考えられ、各企業のニーズなどを十分理解し、雇用に結びつくような立地戦略を展開していくことが重要である。また、地場産業の支援充実をはかり、活動しやすい環境の整備が必要であると考ええる。

城崎温泉街のまちづくりは、温泉街を一つの旅館にたとえ、旅館は部屋、



▲城崎温泉での研修

道路は廊下、外湯は内風呂、土産物屋は売店と捉え、お客様に浴衣を着て「そぞろ歩き」を楽しんでいただき、また、温泉の管理は「集中配湯管理」され「共存共栄」の精神が引継がれている。

「住みたいまち」が、訪れたいまちを合言葉に、住民が主体性をもって同じ方向に向かってまちづくりを進めている。

温泉街内部での旅館、ホテル間の競争で出来ることは限られる。温泉街の一つになって、観光客のためのまちづくりだけでなく、生活者のためのまちづくりも必要であると考ええる。



▲上田市での研修

## 健康福祉の取り組み 文教福祉常任委員会

# 委員会

## 耕作放棄地の作物

### 産業建設常任委員会

#### 目的

耕作放棄地が増加している中、嬉野市に適合する転作作物を調査するため、大分県九重町のトウガラシ栽培から販売までを調査した。

#### 委員会の意見

九重町は夢大吊橋があり観光産業にも力を入れている町である。しかし、高齢化が進み耕作放棄地が増加しつつあり、この解消に向け生産コスト、栽培管理、軽量化、鳥獣被害を受けにくいなどの条件からトウガラシ栽培が選定された。



▲九重町トウガラシ乾燥施設

これは、定植から収穫までは栽培管理が比較的安易であるが、収穫時には実を一つずつ外して選別を行うなど労力が必

要である。

契約栽培で1級品、2級品は販売するが、級外品は害獣の忌避剤として利用されている。

嬉野市も、農家の高齢化に加えTPPが発効すれば米の生産意欲が減退し、耕作放棄地が増加することが予想され、早急な転作も視野に入れ、関係機関の議論が必要である。

今回視察したトウガラシ栽培は契約栽培ではあるが、反収15万円という所得は魅力的な作物である。嬉野市としても大規模栽培とまではいかなくても、他の作物とともに転作作物の一つとして検討すべきである。

#### 目的

超高齢化社会に向かいつつある現在、健康長寿県である長野県上田市と全国的に注目されている富山型デイサービスの現状について視察を行った。

#### 委員会の意見

長野県上田市の取り組みについて。

上田市の健康課題は国や県と比較して糖尿病や血糖値の高い人が増えていくことと健康づくり事業の中に様々な形でウォーキングを取り入れた施策が行われていた。また、筑波大学のクラウドシステムを導入して取り組まれている、国保・介護保険・協会健保などの検診データを活用して40歳以上の市民全体の健康状態を把握し今後の健康施策に反映させていく取り組みについては、全体の医療費削減につながる施策であり参考にするべきと感じた。

富山型デイサービスについて。

この事業については3人の看護師の方が赤ちゃんから年寄りまで、障害の有無に関係なく受け入れたことに始まる。当初は国の制度ではそのような施設に対しての支援が講じられていなかったが、平成18年に障害者自立支援法が改正されたことにより、障害者（児）の高齢者デイサービスの利用について支援されることになった。

佐賀県内においては平成18年より富山型の「地域共生ステーション」が始められているが、障害者（児）や乳幼児の利用者が少ない状況である。富山県においては研修会などを開催してこの施設の理念を浸透させようとしている。今後高齢化が進む中「地域住民の福祉拠点」という福祉の在り方が必要であるが、課題も多く情熱を持って取り組んでもらえる人づくりが重要であると感じた。

## 教育委員会委員

淵 正幸氏の任期満了にともない、市長提案により石橋蔵人氏を教育委員に議会として承認しました。

任期は平成28年2月17日から平成32年2月16日までとなっております。

委員

石橋 蔵人氏

塩田町大字久間



**宇宙船地球号を守るための陳情・地球社会建設決議陳情書**

陳情者

横浜市中区本郷町3-287

荒木 寛

**市道三反田・西湯岳線の改良を求める陳情書**

陳情者

嬉野市嬉野町大字下野甲2601番地

井手川内区 区長 小林 秀男 他14名

**市道下野線における水路改修工事について**

陳情者

嬉野市嬉野町大字下野甲4350番地

下野区 区長 田中 信之 他11名

**沖繩の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖繩米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情**

陳情者

沖繩県名護市辺野古932-26

名護市議会議員 宮城 安秀

**補助金等増額に関する要望書**

陳情者

佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1967番地

一般社団法人 嬉野市シルバー人材センター 理事長 毛利 宏之

**看護学校運営費市町補助金の増額について**

陳情者

鹿島市大字高津原813

鹿島藤津地区医師会立 看護高等専修学校 校長 下河辺 和人

**玄海原発再稼働について九州電力に対して住民説明会開催を申し入れることを求める陳情書**

陳情者

佐賀市伊勢町2-14

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会  
代表 石丸 初美 他1名

## 平成28年

# 第1回定例会 会期日程 (案)

18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	3月1日	29日	28日	27日	2月26日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
討論・採決・閉会	休会	議案質疑	議案質疑	議案質疑	休会	休会	議案質疑	議案質疑	議案質疑	休会	一般質問	休会	休会	一般質問	一般質問	委員会	委員会	委員会	休会	休会	開会